

3学年通信

文京区立文林中学校第3学年
2021年12月24日(金)
第14号

3学期の連絡

【1/11(火)の連絡】

通常どおり8:20登校(少し余裕をもって登校してください。)

※儀礼的服装…服装(男子は学ラン着用)・身だしなみ(頭髪など)の確認をお願いします。

8:25 体育館整列完了

8:25~ ①始業式・学活

2時間目以降は、通常授業。給食あり。



【持ち物】

上履き、通知表、冬休みの生活記録、筆記用具、授業道具、宿題、朝読書用の本、雑巾(1枚。新しくしたい場合は持ってくる)、白衣(給食当番だった生徒)

※通知表は、保護者印を押していただき提出。

※冬休みの生活記録は、「冬休みの反省」を書き、「保護者の方からのコメント」を書いていただき提出。

※通学バッグについては、「通学バッグ自由化に向けた試行期間の実施について」(令和3年12月23日付)のお手紙をご覧ください。

冬休み中の宿題一覧

宿題一覧は、冬休みの生活の記録(P6)に貼ってあります。提出するものを確認して、しっかり期限内に間に合うように提出してほしいと思います。冬休みも毎日検温して、冬休みの生活の記録の「1日を振り返って日記を書きましょう!(P7~P8)」のページに体温を記入してください。

学年レクリエーション

12月17日(金)の6時間目に運動会の代替として、学年レクリエーション(前半はドローケイ、後半はドッジボール)を行いました。気温が低く寒い日でしたが、汗をかきながら体育館を動き回り、楽しんでいました。



いのちと心の授業



【いのちと心の授業の感想】

今日、牧野さんのお話を聞いて思ったことは、感謝は忘れてはいけないということです。生まれてきたこと、育てて今ここにいることも奇跡だし、お母さん、お父さんを初めてするたくさんの大人、たくさんの友達の支えがあったからこそ、今の自分があると思うと、たくさんの人に感謝でいっぱいです。今、僕たちは生きることができているけれど、生きることのできなかつた赤ちゃんがいると思うと、しっかりと生きていかなければと思いました。映画をみて思ったことは、「うれしい涙は輝く未来を開けてくれる」ということです。主人公のお二人は流産などを経験していて、もう子どもを授かるのは無理だと考えたこともあると思います。しかし、子どもを産むことができ、子どもとの生活(輝く未来)を開くとともに、うれしい涙がありました。うれしい涙は輝く未来を開けてくれると思いました。親やたくさんの支えてくれた人に感謝したいと思いました。

私は出産のことや命のことについてあまり考えたことがありませんでした。今日の授業で印象に残ったことは3つあります。一つ目は、お腹にいる赤ちゃんは外の音が聞こえているということです。私は、お腹の中にいる赤ちゃんに話しかけたり、音楽、英語を聞かせたりすると良いという説を聞いたことがあったのですが、それは赤ちゃんが聞いているからだ納得できたからです。二つ目は、受精卵から赤ちゃんの大きさになるということは、野球のボールが東京ドームくらいの大きさになるのと同じということです。約一年でこんなに成長すると考えると、すごいなと思いました。三つ目は、出産しているときの映像です。私はそのような映像を初めてみたので、こんなに大変なんだと衝撃を受けました。つらそうな顔をしている女の人を見たときは、私もつらかったのですが、生まれたときとても感動しました。命の尊さがとても伝わってきました。これからもこのことを忘れずに生きていこうと思いました。

保護者の皆様へ

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。また、先日は、お忙しいところ、三者面談にお越しくださり、ありがとうございます。おかげさまで無事、2学期を終えることができました。

1月から受験が始まるお子様もいらっしゃるかと思います。クラスでは、今後の進路に向かってお互いを励ましたり、支え合ったりしながら受験を乗り越えたいと考えております。

万全の態勢で受験に臨めるよう、ご家庭でも体調管理や出願の準備等をお願いいたします。私立の出願につきましては、各ご家庭で募集要項を確認し、出願してください。出願に必要な書類は、3学期早々に、お子様を通じてお渡しいたします。3学期もよろしくお願いたします。